

2026

4.15 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_uPtj-ycXQdG0yfcCw2RlhA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_uPtj-ycXQdG0yfcCw2RlhA)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# 脳の透明化技術による 神経回路研究



## Key Words

神経科学

神経回路

脳機能

蛍光イメージング

組織透明化

顕微鏡

**今井 猛** 教授

九州大学 医学研究院 基礎医学部門

今井猛（いまたけし）先生は、九州大学大学院医学研究院の主幹教授です。神経科学を専門とされ、特に嗅覚をはじめとする感覚情報処理や神経回路の形成・可塑性の研究に取り組んでいます。また、脳を透明にして神経回路を可視化する技術の開発でも世界をリードしてきました。東京大学大学院理学系研究科で博士（理学）を取得後、理化学研究所でチームリーダーを務められ、2017年より九州大学に着任されました。脳の神経回路がどのように形成され、機能を獲得するのか理解することを目指し、先端的な研究を展開されています。

我々の精神は脳に宿るが、脳がどのように機能し、多様な脳機能が発達過程でどのようにして獲得されるのかは、生命科学における大きな謎である。脳には無数の神経細胞が存在し、それらが複雑に接続して電気回路を作ることによって、さまざまな演算を実現している。したがって、神経回路接続を解明すれば、こうした謎に迫れるはずだが、従来これは容易ではなかった。本講演では、脳を透明にし、蛍光を使って神経回路のつながりを調べる技術について紹介する。また、こうした技術によって明らかになってきた神経回路の構築原理の一端についても紹介する。